

## 意見招請に関する公示

次のとおり調達物品の仕様書案の作成が完了したので、仕様書案に対する意見を招請します。

令和6年5月24日

独立行政法人国立科学博物館 契約担当役 経営管理部長 丹野 史教

◎調達機関番号 512 ◎所在地番号 13

### 1 調達内容

- (1) 品目分類番号 26
- (2) 購入等物品及び数量 標本・資料棟 収蔵棚 一式

### 2 意見の提出方法

- (1) 意見の提出期限 令和6年6月14日17時00分(郵送の場合は必着のこと。)

- (2) 提出先 〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

国立科学博物館経営管理部財務課(契約担当)

電話 03-5814-9830

### 3 仕様書案の交付

- (1) 交付期間 令和6年5月24日から令和6年6月14日まで。
- (2) 交付場所 上記2(2)に同じ。

### 4 Summary

- (1) Classification of the products to be procured: 26
- (2) Nature and quantity of the products to be required: Museum Cabinets for the Collection Annex
- (3) Time limit for the submission of comments 5:00 PM 14, June, 2024
- (4) Contact point for the notice: Finance Division, National Museum of Nature and Science, 7-20 Ueno Park, Taito-ku, Tokyo 110-8718, Japan  
TEL 03-5814-9830

## 意見招請説明書

令和6年5月24日

この意見招請説明書は、独立行政法人国立科学博物館（以下「科学博物館」という。）の「標本・資料棟 収蔵棚 一式」に係る仕様書等に対する意見の提出にあたって、留意すべき事項を定めたものであり、意見の提出を行う者は次の事項を熟知の上、意見書等を提出されるようお願いいたします。

### 1 意見招請に付する事項

#### (1) 調達内容

標本・資料棟 収蔵棚 一式

#### (2) 委託業務の仕様

仕様書及び別紙「設置計画図面」のとおり

※2（4）に示す場所にて交付する。

### 2 意見書の提出方法等

#### (1) 記載方法

- ア 様式は任意とします。（参考までに本説明書末尾に記載例を掲載します）  
電子メールに添付して提出する場合は、Microsoft word、Excel 又は PDF 形式として下さい。
- イ 意見書には、「企業名」「担当者名」「連絡先（電話番号、電子メールアドレス）」を記載して下さい。
- ウ 資料のどの箇所に対するものかを明確にし、具体的な意見を記載下さい。また可能な限り対案をお示しください。
- エ 資料の記述内容に不明な点がある場合は、意見書にて質問をしていただくことも可能です。ただし、資料に直接関連する内容以外の質問については、回答できない場合がありますので、予めご了承下さい。

#### (2) 提出期限

令和6年6月14日17時00分（必着）

#### (3) 提出方法（次の方法により提出）

郵送、持参又は、電子メールに様式を添付して送付下さい。

(4) 提出先及び連絡窓口

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

国立科学博物館経営管理部財務課（契約担当）

電話 03-5814-9830

電子メール keiyaku@kahaku.go.jp

3 留意事項

- (1) 提出された意見は参考とさせていただきますが、最終的に意見を本調達に反映させるか否かは、科学博物館が決定します。
- (2) 資料の交付を行った全企業に対して、同一内容を同一時期に電子メールで回答します。この際、意見等の内容及び回答のみとし、意見等の提出を行った企業名については、公表しません。
- (3) 意見等の回答は、資料の交付時に確認した電子メールの連絡先に対して送信します。
- (4) 提出された意見等の取り下げには応じられません。

(記載例)

令和6年 月 日

標本・資料棟 収蔵棚 一式の仕様書等に対する意見書

企業名

担当者名

電話番号

電子メールアドレス

資料名	章・項番	記載内容	意見・対案
仕様書	Ⅱ. 調達物品に備えるべき技術的要件 1. 地学研究部 収蔵庫機器構成 (1階) 1-1. 中量棚	1-1-1 棚本体は収納作業に耐えうる日本工業規格 JIS-S-1039 (書架・物品棚) の規格相当以上であること。	●とあるが、▲の観点から ■することが困難である。 代替として、○を□としてはどうか。